

# 教 育 研 究 業 績

氏 名 吉田 博行  
学 位 社会福祉学 修士

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
社会科学	社会福祉学	
主要担当授業科目	社会福祉、社会的養護Ⅰ、保育実習Ⅰ（施設）、保育実習Ⅲ、課題研究A、課題研究B。	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		特になし。
2 作成した教科書、教材		
① 『保育の基礎を学ぶ福祉施設実習』（共著）	平成 26 年 4 月 25 日	<p>本書は、保育実習の中でも保育所をのぞく児童福祉施設や、障害児・者の支援を目的とした社会福祉施設における実習に臨むために必要とされる基本的な事項の理解を促進することを目的とした。保育士資格取得を目指す学生が理解しやすいように編集された。</p> <p>第 5 章 利用者の日常生活から実習生に学んでほしいことについて、執筆した。</p> <p>第 1 節 社会福祉施設利用者の実像とその背景、第 2 節 福祉施設利用者の生活と現実社会および地域とのつながり、第 3 節 福祉施設利用者の心理状態および健康状態、第 4 節 福祉施設利用者と家族の関係、第 5 節 福祉施設利用者との人間関係、第 6 節 福祉施設利用者の障害の内容の紹介、第 7 節 福祉施設の現状と課題、第 8 節 子どもの夢 ー良き保育士を目指して等。</p> <p>執筆 pp70-87。</p>
② 『子どもの未来を支える社会的養護』（共著）	平成 31 年 11 月 25 日	<p>本書は、保育士を目指す学生が社会的養護を学ぶテキストとして、出版された。社会的養護ⅠとⅡに適応するように編集された。</p> <p>第 10 章 支援の計画と記録および自己評価について、執筆した。</p> <p>第 1 節 アセスメントと自立支援計画、第 2 節 記録および自己評価、さらな学びたい人のために等。</p> <p>執筆 pp161-173</p>
③ 『子どもの未来を育む社会福祉』（共著）	令和 5 年 3 月 30 日	<p>本著は、保育士を目指す学生のテキストとして、保育士が理解すべき社会福祉の基礎的内容を分かりやすく解説した。社会福祉が理解しやすくなる事例・コラム等を掲載した。時代の変化に応じた新たなルールや、社会資源をコーディネートできる専門性が求められる保育士がもつべき視点・考えが身に付けられるよう編集された。</p> <p>第 4 章 社会福祉施設と専門性について、執筆した。</p> <p>1 節 社会福祉施設の展開、2 節 社会福祉施設従事者と専門性等。</p> <p>執筆 pp69-95</p>

3	教育上の能力に関する大学等の評価		特になし。
4	実務の経験を有する者についての特記事項		特になし。
5	その他		特になし。
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項			
	事 項	年 月 日	概 要
1	資格, 免許		
①	社会福祉士	平成 12 年 4 月 28 日	財団法人 社会福祉振興・試験センター
②	介護支援専門員 (ケアマネジャー)	平成 13 年 3 月 15 日	埼玉県
③	介護福祉士	平成 14 年 4 月 12 日	財団法人 社会福祉振興・試験センター
④	福祉用具専門相談員	平成 14 年 12 月 6 日	(株) 明光ネットワークジャパン
⑤	サービス管理責任者 (介護)	平成 19 年 11 月 13 日	埼玉県
⑥	サービス管理責任者研修 (指導者研修) 地域生活 (知的・精神)	平成 22 年 9 月 10 日	厚生労働省 社会・援護局
⑦	障害者相談支援従事者	平成 23 年 10 月 18 日	埼玉県
⑧	サービス管理責任者 (就労)	平成 28 年 1 月 27 日	埼玉県
2	特許等		特になし。
3	実務の経験を有する者についての特記事項		特になし。

4 その他		特になし。		
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1 『地域から社会福祉を切り開くー関東地域の社会福祉研究ー』	共 著	平成 19 年 5 月	本の泉社	<p>群馬・埼玉に焦点を当て、地域福祉を読み解くことで福祉のあるべき姿を探求した。第一編 群馬社会福祉の展開、第 1 章 群馬社会福祉が抱える特徴と課題、第 2 章 群馬子ども福祉の潮流、第 3 章 揺れ動く群馬障害福祉の苦悩、第 4 章 群馬高齢福祉の展開、第 5 章 群馬社会福祉年表。第二編 第 6 章 埼玉社会福祉の展開と諸問題、第 7 章 埼玉子ども福祉の成立、第 8 章 埼玉障害福祉の展開と課題、第 9 章 戦後埼玉高齢者福祉の展開、第 10 章 埼玉社会福祉年表、第三編 関東地域社会福祉文献紹介。</p> <p>田代国次郎編著、畠中耕、石坂公俊、岡田幸子、矢上克己、吉田博行、長岡理子、大塚良一、高橋努、唯木雅剛。全 325 ページ。</p> <p>執筆 pp139-175。第 6 章。</p>
2 『社会福祉援助技術』	共 著	平成 20 年 4 月	ミネルヴァ書房	<p>本書は、社会福祉援助技術という方法論を紹介し、これからの保育所の多様な取組や連携を理解することを目的とした。子どもと家庭、地域社会に目を向け、子育てを社会全体で行う必要性について考えを深める。</p> <p>序章 保育と社会福祉援助技術、第 1 章 子どもと家庭をとりまく状況、第 2 章 社会福祉援助技術の原理・原則、第 3 章 社会福祉援助技術の沿革、第 4 章 個別援助技術、第 5 章 集団援助技術、第 6 章 地域援助技術、第 7 章 関連援助技術、第 8 章 社会福祉援助技術の実践事例。</p> <p>八木義雄、秋川陽一、倉石哲也監修、大竹智、倉石哲也編著、高田隆、大塚良一、吉田博行、橋本真紀、木村容子、小崎恭弘、安藤健一、橋詰啓子、川本真美、御園愛子。全 237 ページ。</p> <p>執筆 pp64-70。</p>
3 『続・地域から社会福祉を切り開く』	共 著	平成 23 年 2 月	本の泉社	<p>本著は、『地域から社会福祉を切り開く』の続編として出版された。「地域」に関心を寄せ、そこに暮らす生活者市民の社会福祉課題を明らかにし、波紋が巻き起こり、ひろがる契機になればという願いが込められている。</p> <p>第 1 章 こども家庭福祉の課題と再生、第 2 章 在日外国人の生活問題、第 3 章 自己決定尊重を中心とした成年後見活動の現状と課題、第 4 章 地域におけるコロニー政策の軌跡、第 5 章 ある福祉施設の 1 週間、第 6 章 町田市における福祉のまちづくりの史的展開と課題、第 7 章 東北の障害者問題と介護をめぐる課題、第 8 章 滋賀県における農村隣保施設事業の展開、第 9 章 北信越における社会事業施設等の形成史、第 10 章 現代社会福祉批判マガマを探る。全 261 ページ。</p> <p>田代国次郎編著、小室泰治、岡田幸子、荻野基行、大塚良一、吉田博行、嶋田芳男、佐々木達雄、畠中耕、矢上克己。</p> <p>執筆 pp127-134。第 5 章。</p>

4 『新潟県社会福祉史の基礎的研究』	共 著	平成 26 年 11 月	本の泉社	<p>本著は田代国次郎先生とその教え子である立正大学院卒の7人のメンバーで「新潟県社会福祉史の総合的研究」のテーマでプロジェクトを結成し、研究会を重ね、新潟県へ社会福祉福祉史の調査にでかけた。新潟市周辺と佐渡島を訪れ、各地の図書館や戦前からある福祉施設を訪れ、調査を行った。</p> <p>新潟県社会福祉史の一断面、新潟県の妊産婦保護事業、新潟県における児童保護事業の量的分析、新潟県における盲・ろうあ教育創生期の趨勢、新潟県における医療保護の展開、新潟県における厚生事業組織の形成、新潟県における「生業資金貸付」事業の展開、大正時代後期の新潟養老院に関する研究、新潟県における免囚者保護事業の展開、新潟県における協和事業の展開等。全 327 ページ。</p> <p>田代国次郎編著、橋本理子、石坂公俊、大塚良一、<u>吉田博行</u>、畠中耕、荻野基行、矢上克己。 執筆 pp141-155。</p>
5 『社会福祉実践労働の基礎的研究—木のかおりと花のたね—』	単 著	本の泉社	平成 28 年 7 月	<p>本著は、社会福祉施設の実践の記録と社会福祉労働に関する基礎的な論文及び、田代国次郎先生と社会福祉研究センターに関する記録を執筆した。</p> <p>第1章 福祉施設実践レビュー、第2章 社会福祉労働の基礎的研究、第3章 田代国次郎先生と社会福祉研究センター。全 228 ページ。 吉田博行編著。</p>
(学術論文)				
1 「澤田美喜の文化事業から福祉をみつめて—仕事を支えた進行半分と意地半分—」	単 著	東京成徳短期大学紀要 (第 53 号)	令和 2 年 3 月	<p>本稿は、神奈川県大磯町にある澤田美喜記念館とエリザベスサンダースホームを訪れ、澤田美喜の文化事業、社会(福祉)事業、教育事業にふれ、澤田美喜と福祉の歩みを執筆した。</p> <p>澤田美喜の歩み、エリザベスサンダースにおいて、大磯町の概要、澤田美貴記念館、エリザベスサンダースホーム、聖ステパノ学園等。 執筆</p>
2 「最初の疎開保育園と最後の熊谷空襲」	単 著	東京成徳短期大学紀要 (第 54 号)	令和 3 年 3 月	<p>本稿は、太平洋戦争末期、日本で最初の疎開保育園と同時期、終戦を迎えた熊谷空襲について、保育の視点から関連する歴史の一面を執筆した。</p> <p>映画「あの日のオルガン」、戦争末期の保育と疎開保育園の歴史、妙楽寺について、最後の熊谷空襲について等。 執筆 PP55—65。</p>
3 「相模原殺傷事件の施設現場からの考察」	共 著	東京成徳短期大学紀要 (第 56 号)	令和 5 年 3 月	<p>本稿は、相模原殺傷事件に関して、この事件を風化させてはならないと思い、福祉の現場に長く身を置いた立場から考察を執筆した。</p> <p>相模原殺傷事件を生み出した背景、相模原殺傷事件を生み出した新自由主義の論理、相模原殺傷事件を生み出した制度的変質、相模原殺傷事件を生み出した新自由主義の意味とは、自由主義が福祉現場にもたらしたもの、福祉現場の本質とは、等。</p> <p>片貝晴夫、<u>吉田博行</u>著。 執筆 pp9-38。</p>

4 「星の王子さまの福祉の意味を考える」	共 著	東京成徳短期 大学紀要（第 56号）	令和5年3月	<p>本稿は、サン=テグジュペリの『星の王子さま』から目に見えない大切なものについて、福祉の意味を考察した。キツネがいう目に見えない大切なこと、福祉支援の「見える化」への考察、星の王子さまの福祉の意味等について、三者の視点から考察した。</p> <p>吉田博行、後藤梯二、片貝晴夫著 執筆 PP39-49。</p>
(その他)				特になし。

(注) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。